

ハッピー通信

24

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」「ハッピーマイホーム」の現オーナー様、もしくは検討中のオーナー様に、コンサルティング事業部の石山がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。



石山：今回は、自宅の周辺に土地を所有されているT様にお話を伺いました。現在お困りごとはございますか？

T様：自宅の隣にある土地に、昔は家が建っていたのですが、取り壊してそのままの状態になっていて、これからどうしようかと考えています。

石山：当社では、アパートだけでなく、ハッピーマイホームという、戸建もありまして、今なら期間限定で本体価格 888 万円で建築可能です。いかがでしょうか。

T様：安いですね。一人暮らしの子供もいるので、相談してみても良いかもしれません。

石山：土地をそのままにしておくのももったいないですし、当社のハッピーマイホームは、お子さんが住むだけでなく、貸家としても使えます。高品質低価格というコンセプトなので、一般的な建売住宅ではオプションで付けるような設備も標準で付いているなどの強みもあります。是非ご検討ください。

ハッピーマイホームの資料を見ていただき、設備が充実していることや、価格も安いと評価していただきました。少しでも気になりましたらご相談ください。

インタビューより一言

コンサルティング事業部
係長
イシヤマ ショウタ
石山 翔太



久しぶりに自転車で遠くまで行ってみました。遠くといっても、片道20キロぐらいなので市内なのですが、数年前まで余裕で登っていた坂道が相当きつく感じ、体力の衰えを感じました。最近運動を全くしていなかったもので、そろそろ少しずつ運動を始めてみようかと思いました。



ハッピー通信

24

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」「ハッピーマイホーム」の現オーナー様、もしくは検討中のオーナー様に、コンサルティング事業部の飯土井がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。



飯土井： 本日は、所有するハッピーマンションの一部を事務所に行っている、N様の会社にお邪魔しました。ご出身は相双地区ですが、いわき市で貸家業を始めたきっかけを教えてください。

N様： 地元でも親が賃貸経営をしていました。しかし震災で、住んでいた家、賃貸経営していた不動産を失いました。いわき市に転居した後、しばらくして経営再開について考えるようになり、地元の先輩に相談して、いわき市でも賃貸経営を行うことにしました。

飯土井： 現在、ハッピーマンションの経営状態はいかがですか。

N様： いわき土地建物さんのおかげで満足しています。ありがとうございます。

飯土井： いわき市に移り住んで12年、賃貸経営を再開して8年。今、経営者として考えていることはありますか。

N様： いわき市は広いですね。震災後、平から四倉方面では、工事関係者からの需要が多くありました。そして、小名浜にあるハッピーマンションは、近くの商業施設にお勤めする方々から、ご愛顧をいただいております。今は、近隣に学校などの公共施設がある土地や建物を探しています。

N様は、地域ごとの需要と供給のバランスを、ご自身の足と目で確認しています。経営者として、大切な事を教えていただきました。

インタビューより一言

コンサルティング事業部
課長

イイトイ トシユキ

飯土井 利之



先日、地区の清掃活動に参加しました。大人から子供まで除草作業を行いました。天候が良く暑い日差しの中、子供も汗を流しながら頑張ってくれました。作業の終了後、渡されたペットボトル飲料を、「美味しい」と飲んだ、子供達の笑顔に、周囲の大人が癒されました。



ハッピー通信

24

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」「ハッピーマイホーム」の現オーナー様、もしくは検討中のオーナー様に、コンサルティング事業部の高橋がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。



オーナーインタビュー④

いわき市在住

〇様

高橋：本日は、ご商売の傍らで、数々の取引で多くの不動産を所有されてきた〇様に、お話を伺いました。
〇様は現在、息子様と一緒にハッピーマンションの建築を検討中です。
〇様が不動産に興味を持った理由をお聞かせください。

〇様：バブルの時期に、関東地方で仕事をしていました。
その時に、賃貸マンションの一室を購入したことが始まりです。
購入後は、賃貸として使用していましたが、バブル崩壊の2年前に売却をしました。

高橋：バブル崩壊の前に売却できたのはラッキーでしたね。

〇様：本当にラッキーでした。
欲をあまり持たないで、自分の購入できる範囲で行ったことが良かったと思います。
銀行から多額の借入をしなかったことも、正解だったと思います。

高橋：その後は、どのような経緯で不動産を所有されたのですか？

〇様：購入した中古の住宅やマンションを、賃貸にしてから売却する。これを繰り返しました。
以前から、不動産売却からの不動産購入は、税金面で優遇されていました。

高橋：今回、新築の建物を検討されるのは、何故ですか？

〇様：息子は不動産、建築について何もわかりません。
古い物件ですと、改築工事、解体工事、それに伴う退去などの面倒なことに携わるのではないかと心配です。それで、部屋数の少ない低価格のハッピーマンションを選びました。

高橋：「子供に、どのように資産を継がせるか。」〇様のように考える方は増えてきました。
本日はありがとうございました。

〇様は、家族のことをいつも自慢される方です。何度か、関東地方にいる息子さん、娘さんと一緒に暮らしてはいかがですか？と聞いたことがあります。数十年前に亡くなられた“おっかあのお墓があるので無理だ”というお返事。老若男女、家族を大切にする方は素敵です。

インタビューより一言

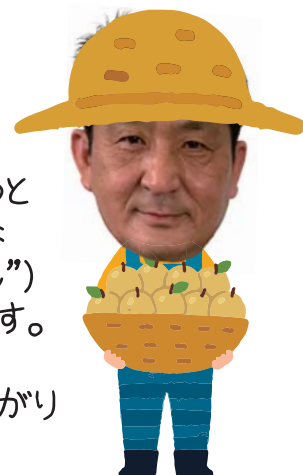
コンサルティング事業部
課長

タカハシ ミツル

高橋 光則



こんにちはコンサルティング事業部の高橋です。
果物の季節がやってきました。
果物の産地と言えば、山形県を思い出す方もいらっしゃると思います。
寒暖の差が大きい果物に適した土地柄ということもあると思いますが、私は、山形県民の辛抱強く、真面目な人柄も強く影響していると思います。(代表例“おしん”)果物は米、野菜と比べられないほど人の手がかかります。それを丁寧にやることで味、風味に違いがでます。何の世界でも同じと思いますが、人柄によって出来上がりに違いがでるのは当然のことです。



こんにちは
高橋の
コンサル
です

